

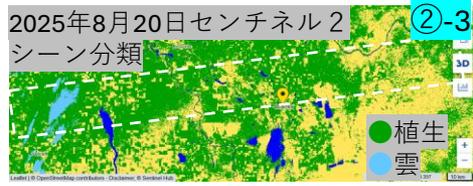


YACかわら版590「竜巻」は、アメリカのケンタッキー州で発生した長さ約90km幅約1.6kmもの竜巻の跡を探りました。本号は、カナダアルバータ州の長さ約200km幅約15kmもの雹の傷跡(きずあと)を探ります。

NASA 8月28日の今日のイメージの説明では、8月20日巨大な積乱雲による激しい嵐(スーパーセル)が時速約150kmの突風をおこし、ゴルフボール大の雹がふったそうです。農地、草原、森林の植物が雹に痛みつけられた様子が確認できます。



①の映像をワールドビューで確認してみましょう。映像にはカルガリという地名がありますが、雹の傷跡に近いのはブルックス(Brooks)のようです。



日本でも今夏は雹(ひょう)のニュースを多く見聞しました。「ウエザーニュース」には次の記事がありました。

9月3日 関東でゲリラ雷雨 栃木県内では雹も <https://weathernews.jp/news/202509/030316/>

8月21日 関東南部で激しい雷雨に 雹の降ったところも <https://weathernews.jp/news/202508/210226/>

8月11日 北海道で局地的に雨雲が急発達 雷雨や雹などに警戒 <https://weathernews.jp/news/202508/110356/>

7月23日 甲信では雹の降った所も 強雨による冠水や落雷、突風にも注意 <https://weathernews.jp/news/202507/230216/>

君津市のウェブサイトには...

雹よけ(ひょうよけ)と道切り
雹は夏の発達した積乱雲の中で発生する5ミリ以上の氷の塊で、農作物や人畜に被害を与えます。こうした自然災害もまた、悪霊や鬼などがもたらすと考えられ、関東各地で「雹嵐除け」「雹まつり」などが、4月を中心に行われてきました。 以下略 <https://www.city.kimitsu.lg.jp/site/kyoiku/32979.html>

雹はどのような気象条件の時発生するのか調べてみたいくなりますね。

専門機関が衛星データを分析し報告された事例が、私たちの机上のパソコンでも確認ができるということがすごいですね。